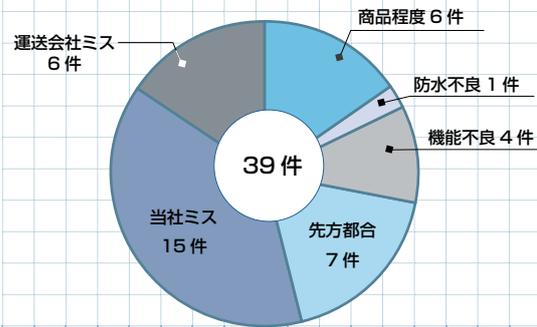


リポートニュース

令和2年3月号 NO.214

警察庁の発表によると交通事故発生件数は2015年度の536,899件から2019年度の381,002件と5年間で3割減の▲155,897件の減少となっています。国内の自動車保有台数に大きな変化が見られない中での事故件数減は、先進安全技術の普及にあります。2021年からは、新車(乗用車)に対して段階的に衝突被害軽減ブレーキの装着を義務付ける方針が示されているので、今後も事故の減少が続くものと思われます。整備業界では特定整備が追加されビジネスチャンスと捉える人も多くいますが、钣金工場さま同様に当社にとっては、予断を許さない厳しい環境に直面しています。

2月のクレーム ⑦ 集計報告



自社主力商品別クレーム (輸出版売はノークレームのため対象外です。)

商品別クレーム	件数	クレーム率	内 訳	
バンパー	4件	4/1,170	0.34%	補修部が凹凸している 2件 ツメ、取付の欠損 2件
フード	0件	0/224	0.0%	
フェンダー	0件	0/577	0.0%	
ドア・Rゲート	0件	0/190	0.0%	
ライト類	4件	4/1034	0.38%	防水不良、センサー作動不能、光軸不良、 レンズ面擦り傷多数 各1件
その他	3件			ドアミラー作動不良 2件 右テールカット割れ有り 1件
計	11件	11/3,195	0.37%	

豆知識 トヨタ 210系 カローラスポーツとカローラ、カローラツーリング フェンダーの見分け方

- カローラスポーツ H30.6～
バンパーに掛る先端取付部分の○と□が並ぶ部分に段差がある **写真 B**
- カローラ、カローラツーリング R1.10～
同様の部分に段差が無く穴の間に出張りがある **写真 A**



A カローラ、カローラツーリング



B カローラスポーツ

豆知識 スズキ スペーシア MK53S H29.12～とスペーシアギア MK53S H30.12～フェンダーの見分け方

形状は同じですが、スペーシアギアのフェンダーにはサイドステップ取付穴が1ヶ所開いています。



A スペーシアMK53 穴なし



B スペーシアギアMK53 穴有り

新型コロナウイルス流行の負の連鎖

1月以降に来日してくる中東からのバイヤーが新型コロナウイルスの感染を恐れて来日を取りやめているため、予定された輸出売上が伸びず、さらに国内の雪不足と重なり部品の動きは停滞しています。さらに市民が不急・不要の外出を控える影響で、車の動きも少なくなり車両事故も減少傾向にあります。一方でネットでの買い物客が増え、一部地域で宅配便の遅延が発生しています。こうした状況下でも、現場は元気で生産活動に集中していますのでご安心ください。



塗装課



钣金課



ライト課

西濃運輸 土曜日発送分の集荷中止について

西濃運輸より4月以降の「土曜日発送分の集荷中止」の連絡が入りました。このため金曜日のPM2:00以降に受注した関西・東海・関東・東北・北海道方面の発送は原則月曜日発送になります。また福山通運が担当する山陽・山陰・四国・九州方面は集荷締切時間がPM12:00に繰り上がりました。このため金曜日の受注分と早朝受注分に限り土曜日発送になります。ヤマト便が扱うライト・グリラ類の小物は、これまで通り土曜日発送をします。

労働基準監督署の「労務管理の実態調査」

労務管理では正4件、指導2件の改善勧告を受けました。国を挙げての働き方改革の取り組みの一環から調査内容は、有給休暇の取得状況、役職者の長時間労働の有無、適正な残業時間と支給額の整合性、ストレスチェックの実施と産業医の面接有無、出社時間と始業時間のタイムラグが1時間前後の人の行動実態のレポート提出など広範囲にわたった大変厳しい調査でした。

新規採用のパート社員 1,100円/時 提示

埼玉県の最低時給は、926円/時となっていますが、昨今の人手不足から1,000円/時、社会保険完備、有給制度あり・食事補助あり・ミニ賞与あり等の条件提示でもパート社員が集まりません。そこでミニ賞与の原資を時給アップに充て4月より1,100円/時で募集することになりました。今後の安定雇用を維持する条件として、1,200円/時以上の金額提示ができる「体力」が企業にあるかどうか? 存続を左右するキーワードになりそうです。

宅配便「トール」の新規参入

これまでの西濃運輸・福山通運・ヤマト便に加え、(株)トールさんの新規参入が決まり、九州一円を担当することになりました。九州の一部地域では、これまでの中1日着から中2日着の区域もありますが、お客様の運送費負担を軽減するための対応となっております。サービスに問題がなければ徐々にエリアを拡大したいと考えております。

「乗ればわかる」から「見ればわかる」クルマづくり

乗ればわかる。新型車をアピールする際にメーカーや販売会社からよく聞く言葉だ。2019.11発売の新型SUV「ライズ」が登録車1位となった。「ライズはなぜ売れているのか。客は何に惹かれて購入を決めたのか」この質問をトヨタ系販社の役員にした。2016.11に発売したトールワゴン車「ルーミー・タンク」の販売好調の際に同様の質問をしたが回答は共通していた。「わかりやすいから」だという。クルマに詳しくないお客さまが、見て、触って魅力を理解できる「見ればわかる」クルマなのだ。ちなみにライズ・ルーミー・タンクいずれもダイハツからのOEM車である。日刊自「霧社」抜粋

ISO9001 品質マネジメントシステムの更新

R2年2月初旬、2日間の更新審査が終わり、無事更新することが出来ました。審査では、指導4件とパフォーマンス評価7件を頂きました。リノベータパーツの改善が進み、よりお客様ニーズに寄り添ったサービス向上が評価されました。今後も日々起こる問題にきっちりと向き合い改善を模索しながら前進を続けてゆきます。